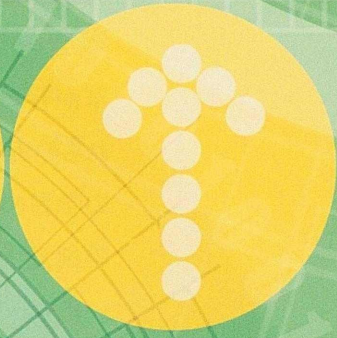
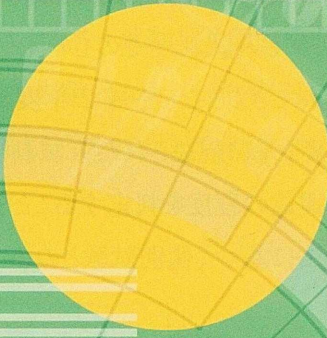
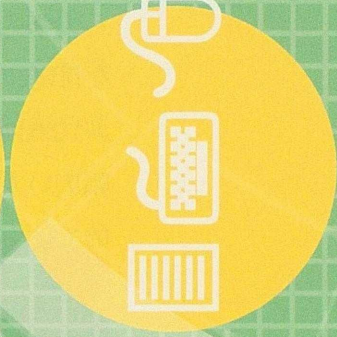
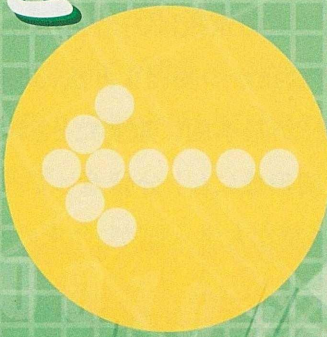


多様な 大学入試を めざして

平成20年度大学入試センター試験



よりよい入試に向けて

大学(短期大学を含む。以下同じ。)がそれぞれによりよい入試を実現できるよう、大学入試センターはその期待にこたえます。

大学入試に求められているもの

大学入学者の選抜は、①大学教育を受けるにふさわしい能力・適性などの多面的な判定、②公正かつ妥当な方法、③入試のために高等学校の教育を乱すことがないような配慮、が基本的に重要だとされています。また、高等学校段階にある受験者の幅広い人間形成にも十分留意して、それぞれの個性や能力、適性を大切にしたい画一的でない多様な大学入試が、今求められています。

大学入試センター試験の活用

これまでも入試制度そのものや各大学の入試方法について、さまざまな改善・改革が行われてきました。平成2年度からスタートした「大学入試センター試験」は、これらの実績を基に創設された入試制度です。この試験は、受験者の高等学校段階での学習の達成の程度を判定することを目的としており、その利用に当たっては、各大学の創意工夫に基づく個別試験との組合せにより、多様な選抜方法の推進役ともなっています。

国公立大学の枠を超えて

大学審議会答申でも、「入学者選抜において求める学生を見いだすためには、まず大学はそれぞれが特色ある教育理念等を確立することが必要であり、それに応じた入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)を明確化し、対外的に明示することが求められる。その上で、実際の選抜方法や出題内容等に反映させ、それぞれの大学にふさわしい入試を行うことが必要である。」と述べられています。大学入試センター試験はこのような期待にこたえます。この試験の趣旨や内容、実施結果などを、より多くの関係者の方に理解していただき、利用大学の輪が大きく広がっていくことが望まれます。大学入試の改善は、国公立すべての大学において着実に進められていくことが、何よりも大切と考えます。

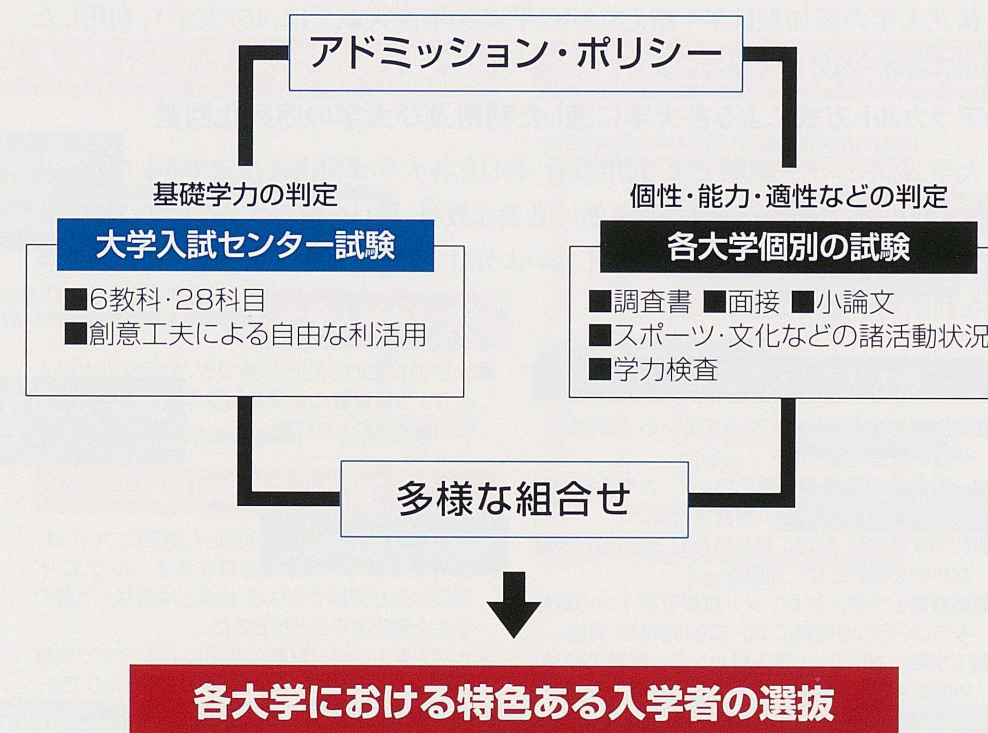
各大学の特色ある入試をお手伝い

大学入試センター試験は利用大学ごとの自由な活用が基本

大学入学者の選抜の具体的な在り方は、各大学それぞれの自主的な検討に待つべきものです。大学入試センター試験は、このことを基本において考えられた試験で、各大学が独自の判断と創意工夫により、自由にこの試験を活用して、特色ある入学者選抜を実現しようとするものです。この試験の成績は、受験者ひとりひとりの能力や適性などが多面的に判断できるよう利用されるものです。

教科・科目の利用の仕方は各大学の考え次第

大学入試センター試験は、出題する6教科28科目から各大学の判断により、利用教科・科目を自由に指定できます。また、大学入試センター試験と調査書や面接、小論文、実技検査などを適切に組み合わせることで、各大学のカラーを鮮明に打ち出し、いわゆる輪切りによる進路指導や大学の序列化に歯止めをかけることも期待されています。



利用方法いろいろ、メリット多彩

大学入試センター試験は、利用大学独自の創意と工夫により、さまざまに活用されています。その成果については、いろいろな反響が寄せられています。

大学入試センター試験の果たす役割など

大学入試センター試験は、昭和54年度から平成元年度まで実施された共通第1次学力試験に代えて、平成2年度から実施されているものです。

●難問奇問を排除した、良質な問題の確保

昭和53年度以前は、高等学校教育の程度や範囲を超えた難問奇問の出題が少なくありませんでしたが、共通第1次学力試験や大学入試センター試験の導入により、難問奇問を排除した良質な問題が確保されるようになり、現在、高等学校等の関係者からも高い評価を受けています。

●各大学が実施する試験との適切な組合せによる大学入試の個性化・多様化

大学入試センター試験を利用することで、小論文、面接等を実施する大学や推薦入学、帰国子女・社会人を対象とした特別選抜を実施する大学が増えつつあります。このように、大学入試センター試験は大学入試の個性化・多様化に貢献しています。AO入試や推薦入試にセンター試験を用いる例もあります。

●国公立大学を通じた入試改革

私立大学の参加数は年々増えており(平成20年度入試では、467大学)、利用した私立大学からも好評を得ています。

●アラカルト方式による各大学に適した利用及び大学の序列化回避

大学入試センター試験では、利用教科・科目を各大学が自由に指定できるアラカルト方式により、各大学がその大学・学部に必要な教科・科目を指定することができます。また、いわゆる輪切り、序列化を助長しないようにしており、大学入試センター試験の多様な利活用が進んできています。

各大学での利用方法の一例

- 基礎的な学力を幅広く評価するため、出題教科・科目を総合的に利用。
- 一般選抜の定員の一部分について、大学入試センター試験の特定の教科・科目を利用。
- 利用する教科・科目に幅を持たせ、受験者が得意なものを選択させて利用。
- 調査書と大学入試センター試験で第1次の選抜を行い、その合格者について面接試験を実施。
- 工学部において、大学入試センター試験の数学・外国語を利用。大学が行う試験は理科のみを実施。
- 入学定員の一部分について、大学入試センター試験と大学が行う試験のうち、高得点の方を合否の判定に使用。
- 推薦入学について、大学入試センター試験の国語・外国語のみを利用し、大学が行う試験として面接を実施。
- 大学入試センター試験で必要とする成績水準を明示した上で、大学入試センター試験の成績がその水準に達している者は大学が行う試験に進ませ、大学入試センター試験の成績は合算せず、大学が行う試験の成績のみで合否を判定。

■大学の自主的な判断に基づき、前年度の大学入試センター試験の成績を当該年度の入学選抜に利用することも可能。

利用によって得られた成果

- 大学入試センター試験を利用した選抜については、全科目に平均的な学力を有するオールラウンド型の学生が受験するなど、従来とは異なった層の学生を開拓することができた。
- 大学入試センター試験の利用により、今まで実施が難しかった小論文や面接を導入する余裕ができ、偏差値・輪切り型の選抜から方向転換を図ることができた。
- 受験者が全国的に広がり、受験者数も従来より増加した。
- 大学のPRに役立ち、イメージアップが図れた。
- 大学独自の試験のみで選抜を行うよりも、広範囲の教科・科目を利用した広い視野から受験者の適性の評価が行えるようになった。
- 同一大学・学部の受験チャンスが1回増えたことが受験者に好評であった。

協議・協力し、スムーズに実施

国公立の各大学が共同して試験の実施に当たります

大学入試センター試験は、この試験を利用する国公立大学と協力しながら、大学入学選抜の一部として、共同で実施するものです。大学入試センターとこの試験を利用する国公立大学間で実施方法の改善や充実等について、慎重に協議を重ねながら実施されています。

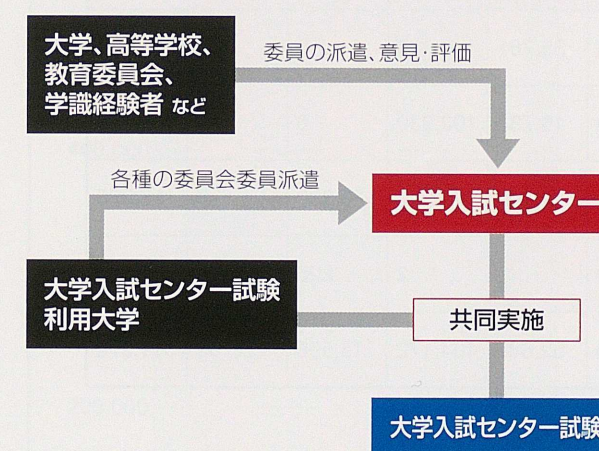
大学入試センターが試験問題の作成・答案の採点などを担当します

大学入試センターは、主として問題の作成や印刷、答案の採点、集計など、試験の実施に当たり一括して処理することが適当な業務を担当しています。

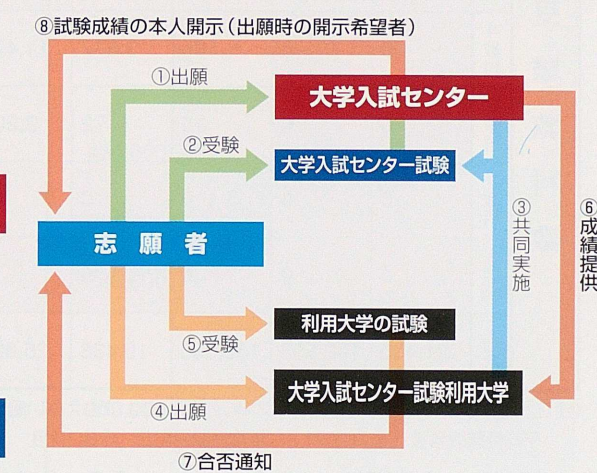
試験問題は、国公立大学の教員等による委員会において作成されています。試験終了後、高等学校関係者、関係学会等からの評価を受けています。

なお、大学入試センターの運営に関しては、各種委員会を通して各大学・高等学校関係者などの意見が十分に反映されるようになっています。

大学入試センター試験の運営



大学入試センター試験を利用した入試の仕組み



■検定料

3教科以上受験 18,000円
2教科以下受験 12,000円

■成績開示手数料

出願時 800円
(成績開示を希望する場合、出願時に検定料と併せて払込)

■出願方法

- (1) 高等学校又は中等教育学校卒業見込者は、在学している学校経由
- (2) 高等学校又は中等教育学校卒業等者は、直接郵送

■試験場

- 原則として
- (1) 高等学校又は中等教育学校卒業見込者は、在学している学校が所在する試験地区内の試験場
- (2) 高等学校又は中等教育学校卒業等者は、居住する試験地区内の試験場

平成19年度大学入試センター試験の実施状況

- ① 実施日 平成19年1月20日・21日（追・再試験は1月27日・28日）
- ② 高等学校卒業予定者 1,153,534人（「学校基本調査」から推計）
- ③ 志願者数 553,352人
卒業見込者 434,316人（卒業予定者数に対する現役志願率 37.7%）
卒業生等 119,036人
- ④ 受験者数 511,272人（志願者数に対する受験率 92.4%）
- ⑤ 利用大学数 607大学・148短期大学（詳細は14ページを参照）
- ⑥ 試験場・試験室数 735試験場 8,923試験室（うち点字試験場 8）
- ⑦ 教科別受験者数（追・再試験含む）

区 分	国 語	地理歴史	公 民	数 学①	数 学②
受験者数	487,538人	360,950人	322,473人	368,958人	330,424人
区 分	理 科①	理 科②	理 科③	外国語（筆記）	外国語（リスニング）
受験者数	199,411人	238,866人	168,883人	504,892人	497,654人

⑧ 教科・科目別受験者数

		受 験 科 目 数									
		9科目	8科目	7科目	6科目	5科目	4科目	3科目	2科目	1科目	合計
受 験 教 科 数	6教科	21,435	97,556	78,891	7,574	0	0	0	0	0	205,456
	5教科	0	5,037	87,630	7,913	10,951	0	0	0	0	111,531
	4教科	0	0	165	3,877	11,428	35,761	0	0	0	51,231
	3教科	0	0	0	72	3,209	16,733	102,930	0	0	122,944
	2教科	0	0	0	0	12	143	1,240	15,330	0	16,725
	1教科	0	0	0	0	0	0	2	228	3,155	3,385
	合計	21,435	102,593	166,686	19,436	25,600	52,637	104,172	15,558	3,155	511,272

（注）□内は、可能性のある組合せの枠。■内は、ありえない組合せの枠。
平均受験教科数 4.70教科 平均受験科目数 5.83科目

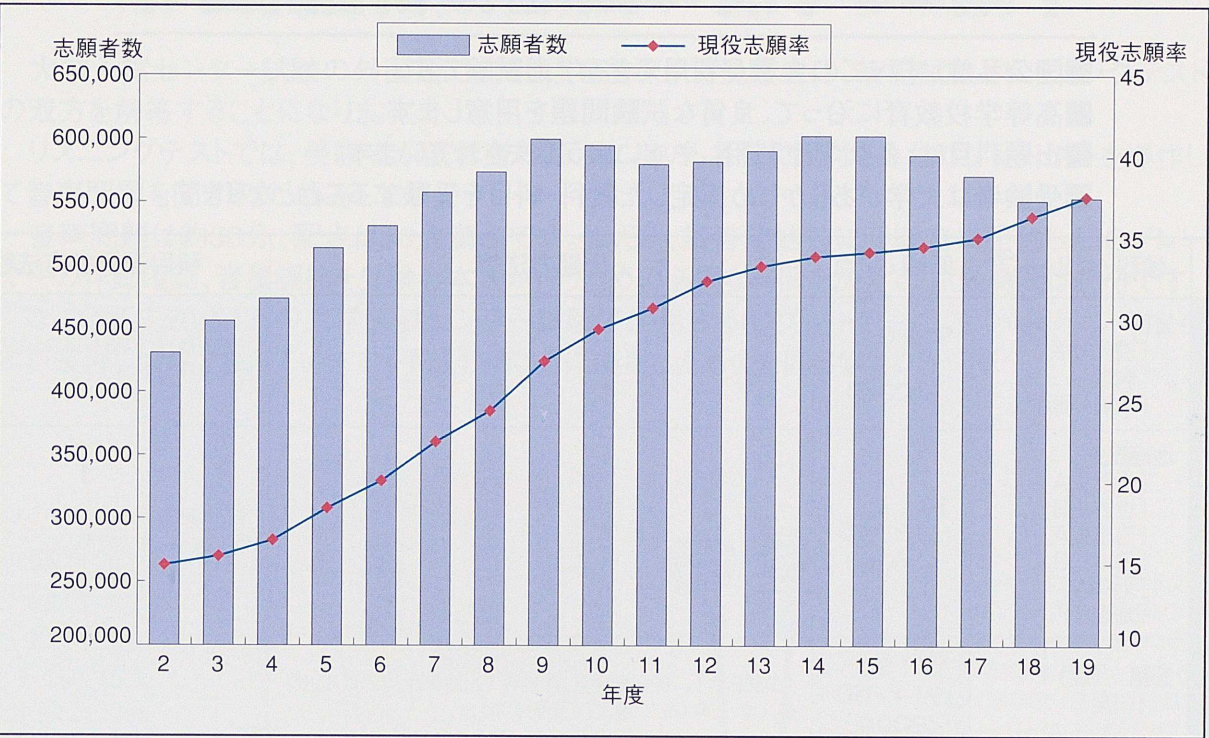
⑨ 教科組合せ別受験者数（多い方から5つ）

受験教科数	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	受験者数
6教科	○	○	○	○	○	○	205,456人（40.2%）
3教科	○	○	—	—	—	○	73,373人（14.4%）
5教科	○	—	○	○	○	○	61,889人（12.1%）
5教科	○	○	—	○	○	○	42,512人（8.3%）
4教科	○	○	○	—	—	○	24,760人（4.8%）

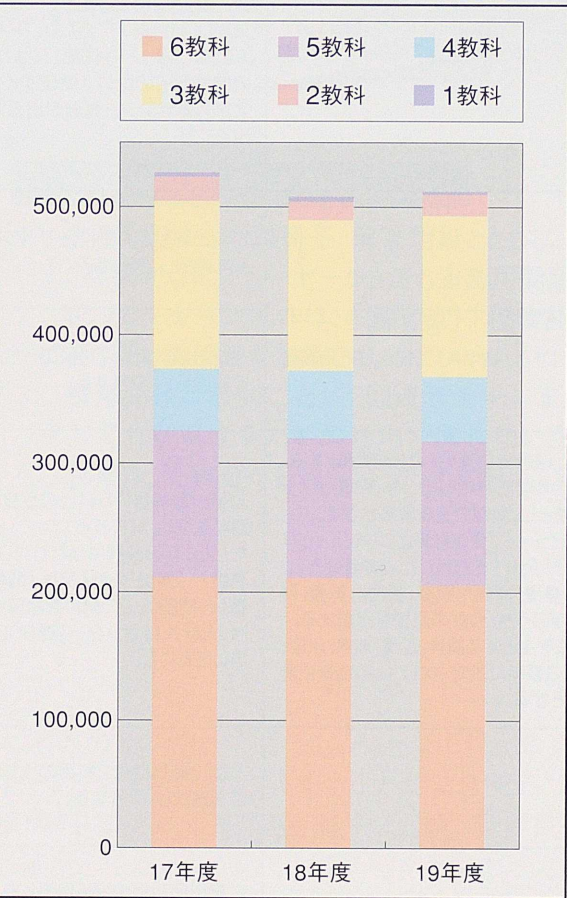
（注）“○”は、受験した教科、“—”は、受験しなかった教科を示す。

（参考）

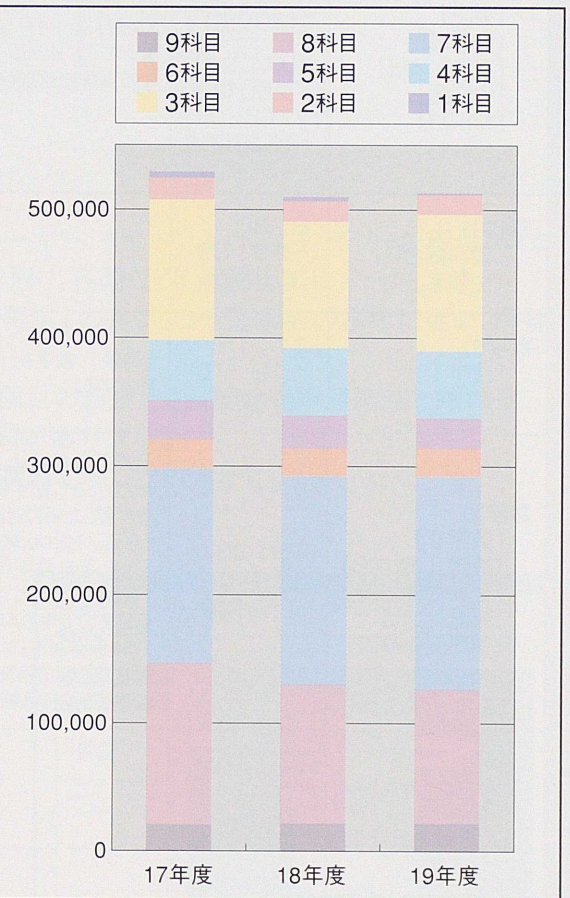
① 志願者数及び現役志願率の推移



② 教科数別受験者数の推移



③ 科目数別受験者数の推移



平成20年度の出題教科・科目等

- 国公立、すべての大学が利用できる学力試験です。
- 高等学校教育に沿って、良質な試験問題を用意します。
- 出題科目は、各大学が利用しやすいよう工夫されています。
- 受験者は大学があらかじめ指定した教科・科目を受験することとなります。

期日	教科・グループ	時間・配点	出題方法等	科目選択の方法等
平成20年1月19日(土)	公民 「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」	9:30 ~10:30 (100点)		左記出題科目の3科目のうちから1科目を選択し、解答する。
	地理歴史 「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	11:15 ~12:15 (100点)		左記出題科目の6科目のうちから1科目を選択し、解答する。
	国語(注)1 「国語」	13:30 ~14:50 (200点)	「国語総合」、「国語表現Ⅰ」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する。	
	外国語(注)2 「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	【筆記】 15:35 ~16:55 (200点) 【リスニング】 (「英語」のみ) 17:35 ~18:35(注)3 (50点)	「英語」は、「オーラル・コミュニケーションⅠ」及び「英語Ⅰ」に加えて「オーラル・コミュニケーションⅡ」と「英語Ⅱ」に共通する事項を出題範囲とする。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」又は「韓国語」の問題冊子の配付を希望する場合は、大学入試センター試験の出願時に申し出ること。
平成20年1月20日(日)	理科① 「理科総合B」 「生物Ⅰ」	9:30 ~10:30 (100点)		左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。
	数学① 「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」	11:15 ~12:15 (100点)	「数学Ⅰ・数学A」は、「数学Ⅰ」と「数学A」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。
	数学② 「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」 「工業数理基礎」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	13:30 ~14:30 (100点)	「数学Ⅱ・数学B」は、「数学Ⅱ」と「数学B」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学B」の4項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔数列、ベクトル、統計とコンピュータ、数値計算とコンピュータ〕 「簿記・会計」は、「簿記」及び「会計」を総合した出題範囲とし、「会計」については、会計の基礎、貸借対照表、損益計算書、財務諸表の活用の4項目の内容のうち、会計の基礎を出題する。 「情報関係基礎」は、職業教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、「工業数理基礎」、「簿記・会計」又は「情報関係基礎」の問題冊子の配付を希望する場合は、大学入試センター試験の出願時に申し出ること。
	理科② 「理科総合A」 「化学Ⅰ」	15:15 ~16:15 (100点)		左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。
	理科③ 「物理Ⅰ」 「地学Ⅰ」	17:00 ~18:00 (100点)		左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。

(注) 1 「国語」は、「近代以降の文章(2問100点)、古典(古文(1問50点)、漢文(1問50点))」で構成されており、大学によっては、分野別に利用を指定することができるようになっています。
2 外国語において、「英語」を選択する受験者は、筆記とリスニングの双方を解答することになります。
3 リスニングテストは、音声問題をうい30分間で解答を行いますが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うための必要な時間を加え、試験時間は60分となります。

英語リスニングテスト

大学入試センター試験の外国語で『英語』を選択する受験者は、筆記試験とリスニングテストの双方を解答することになります。

リスニングテストでは、受験者が監督者の指示に従い、各自に配付されたICプレーヤーを操作して音声問題を聞き取り、解答します。

音声問題は約30分、配点は50点満点です。ただし、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認、音量調節を受験者本人が行うための必要な時間を加えて、試験時間は60分です。

なお、平成20年1月の大学入試センター試験で使用するICプレーヤーは、3つのボタンのすべてが長押し仕様となっています(平成19年1月に使用したものと同じです)。



- リスニングテストの進行
- 1 各受験者に、問題冊子、解答用紙とともに、ICプレーヤー、イヤホン及び音声メモリーが配付されます。受験者はICプレーヤーから流れる音声問題を聞き取り、各問ごとに解答用紙にマークします。
 - 2 ICプレーヤーの操作は、「1電源」「2確認」「3再生」の各ボタンを監督者の指示に従い、順番に押すだけの簡単なものです。
 - 3 音声問題は設問ごとに2回流れます。また、1回目の音声と2回目の音声の流れた後には、それぞれ解答するための音声流れない空白時間があります。
 - 4 音量は、受験者が各自に合った大きさに、いつでも調節することができます。

大学入試センターのホームページでは、ICプレーヤーの操作を疑似体験することができます。また、平成19年度試験の問題冊子、正解、音声問題等も掲載しておりますので、御参照ください。



平成20年度大学入学者選抜実施日程

●平成19年 5月 大学入試センター試験の実施要項を発表

- ▲ 7月31日(火)まで
各国公私立大学が個別学力検査等の選抜要項を発表
- ▼ 9月3日(月)から
大学入試センター試験の受験案内を配付
- 10月1日(月)～12日(金)
大学入試センター試験の出願受付
(大学入試センター試験の成績開示希望受付)
- ▲ 10月下旬から11月上旬まで
大学入試センター試験の志願者に確認はがきを送付
- ▲ 12月15日(土)まで
各国公私立大学が個別学力検査等の募集要項を発表
- ▲ 12月上旬から12月中旬まで
大学入試センター試験の志願者に受験票等を送付

●平成20年 1月19日(土)・20日(日) 大学入試センター試験の本試験を実施

- 1月19日(土)・20日(日)
大学入試センター試験問題の正解等を発表
- 1月23日(水)〔予定〕
大学入試センター試験の平均点等の中間発表
- 1月25日(金)〔予定〕
大学入試センター試験の得点調整実施の有無の発表
- 1月26日(土)・27日(日)
大学入試センター試験の追試験を実施
- 1月28日(月)～2月6日(水)
各国公立大学の出願受付
- ▼ 2月5日(火)から
大学入試センター試験成績の各大学への提供を開始
- 2月7日(木)〔予定〕
大学入試センター試験の平均点等の最終発表
- ▼ 2月25日(月)から
国公立大学前期日程の試験を実施
- ▼ 3月8日(土)以降
公立大学中期日程の試験を実施
- ▼ 3月12日(水)以降
国公立大学後期日程の試験を実施
- ▼ 4月16日(水)以降
大学入試センター試験の成績開示希望者に
成績通知書を送付

(注) 1 国公立大学の実施日程は、上記日程と一部異なる場合があります。
2 私立大学・公私立短期大学は、出願期日、試験日とも各大学が設定しています。

平成20年度大学入試センター試験利用大学

624大学

国立大学83大学(全大学)

北海道大学	北海道教育大学	室蘭工業大学	小樽商科大学
帯広畜産大学	旭川医科大学	北見工業大学	弘前大学
岩手大学	東北大学	宮城教育大学	秋田大学
山形大学	福島大学	茨城大学	筑波大学
筑波技術大学	宇都宮大学	群馬大学	埼玉大学
千葉大学	東京大学	東京医科歯科大学	東京外国語大学
東京学芸大学	東京農工大学	東京芸術大学	東京工業大学
東京海洋大学	お茶の水女子大学	電気通信大学	一橋大学
横浜国立大学	新潟大学	長岡技術科学大学	上越教育大学
富山大学	金沢大学	福井大学	山梨大学
信州大学	岐阜大学	静岡大学	浜松医科大学
名古屋大学	愛知教育大学	名古屋工業大学	豊橋技術科学大学
三重大学	滋賀大学	滋賀医科大学	京都大学
京都教育大学	京都工芸繊維大学	大阪大学	大阪外国語大学
大阪教育大学	兵庫教育大学	神戸大学	奈良教育大学
奈良女子大学	和歌山大学	鳥取大学	島根大学
岡山大学	広島大学	山口大学	徳島大学
鳴門教育大学	香川大学	愛媛大学	高知大学
福岡教育大学	九州大学	九州工業大学	佐賀大学
長崎大学	熊本大学	大分大学	宮崎大学
鹿児島大学	鹿児島大学	琉球大学	

公立大学74大学(全大学)

釧路公立大学	公立はこだて未来大学	札幌医科大学	札幌市立大学
名寄市立大学	青森県立保健大学	青森公立大学	岩手県立大学
秋田県立大学	国際教養大学	宮城大学	山形県立保健医療大学
会津大学	福島県立医科大学	茨城県立医療大学	群馬県立県民健康科学大学
群馬県立女子大学	高崎経済大学	前橋工科大学	埼玉県立大学
首都大学東京	神奈川県立保健福祉大学	横浜市立大学	新潟県立看護大学
富山県立大学	石川県立大学	石川県立看護大学	金沢美術工芸大学
福井県立大学	都留文科大学	山梨県立大学	長野県看護大学
岐阜県立看護大学	岐阜薬科大学	静岡県立大学	愛知県立大学
愛知県立看護大学	愛知県立芸術大学	名古屋市立大学	三重県立看護大学
滋賀県立大学	京都市立芸術大学	京都府立大学	京都府立医科大学
大阪市立大学	大阪府立大学	神戸市外国語大学	神戸市看護大学
兵庫県立大学	奈良県立大学	奈良県立医科大学	和歌山県立医科大学
島根県立大学	岡山県立大学	尾道大学	県立広島大学
広島市立大学	下関市立大学	山口県立大学	香川県立保健医療大学
愛媛県立医療技術大学	高知女子大学	北九州市立大学	九州歯科大学
福岡県立大学	福岡女子大学	県立長崎シーボルト大学	長崎県立大学
熊本県立大学	大分県立看護科学大学	宮崎県立看護大学	宮崎公立大学
沖縄県立看護大学	沖縄県立芸術大学		

私立大学467大学1286学部 ■は平成20年度新規利用大学 ■は平成20年度新規利用学部がある大学

札幌大学	札幌学院大学	札幌国際大学	千歳科学技術大学
天使大学	道都大学	苫小牧駒澤大学	日本赤十字北海道看護大学
函館大学	北翔大学	北星学園大学	北海学園大学
北海道商科大学	北海道医療大学	北海道工業大学	北海道情報大学
北海道東海大学	北海道文教大学	北海道薬科大学	酪農学園大学
稚内北星学園大学	青森大学	青森中央学院大学	八戸大学

八戸工業大学	弘前学院大学	富士大学	盛岡大学
石巻専修大学	尚絅学院大学	仙台大学	東北学院大学
東北工業大学	東北文化学園大学	東北薬科大学	宮城学院女子大学
■ 秋田看護福祉大学	ノースアジア大学	東北芸術工科大学	東北公益文科大学
■ いわき明星大学	郡山女子大学	東日本国際大学	茨城キリスト教大学
常磐大学	流通経済大学	足利工業大学	国際医療福祉大学
作新学院大学	■ 獨協医科大学	宇都宮共和大学	白鷗大学
関東学園大学	共愛学園前橋国際大学	群馬社会福祉大学	上武大学
高崎健康福祉大学	高崎商科大学	■ 東京福祉大学	跡見学園女子大学
共栄大学	埼玉学園大学	埼玉工業大学	十文字学園女子大学
城西大学	■ 尚美学園大学	女子栄養大学	駿河台大学
西武文理大学	東京国際大学	獨協大学	■ 日本医療科学大学
日本工業大学	日本薬科大学	文教大学	文京学院大学
平成国際大学	明海大学	ものつくり大学	江戸川大学
川村学園女子大学	神田外語大学	敬愛大学	秀明大学
淑徳大学	城西国際大学	聖徳大学	清和大学
千葉科学大学	千葉工業大学	千葉商科大学	帝京平成大学
東京情報大学	東京成徳大学	東洋学園大学	■ 了徳寺大学
麗澤大学	和洋女子大学	■ 青山学院大学	亜細亜大学
桜美林大学	大妻女子大学	嘉悦大学	北里大学
共立女子大学	共立薬科大学	杏林大学	慶應義塾大学
恵泉女子学園大学	工学院大学	國學院大學	国際基督教大学
国士舘大学	■ 駒澤大学	駒沢女子大学	実践女子大学
芝浦工業大学	順天堂大学	■ 昭和大学	昭和女子大学
昭和薬科大学	白梅学園大学	白百合女子大学	成蹊大学
成城大学	清泉女子大学	専修大学	創価大学
大正大学	大東文化大学	■ 高千穂大学	拓殖大学
■ 多摩大学	玉川大学	多摩美術大学	中央大学
津田塾大学	帝京大学	デジタルハリウッド大学	東海大学
東京医療保健大学	東京音楽大学	東京家政大学	東京家政学院大学
東京経済大学	東京工科大学	東京工芸大学	東京純心女子大学
東京女子大学	東京聖栄大学	東京電機大学	東京農業大学
東京富士大学	■ 東京未来大学	東京薬科大学	東京理科大学
東邦大学	東洋大学	二松学舎大学	■ 日本大学
日本歯科大学	日本社会事業大学	日本女子大学	日本女子体育大学
日本文化大学	法政大学	星薬科大学	武蔵大学
武蔵工業大学	武蔵野大学	武蔵野音楽大学	■ 武蔵野美術大学
明治大学	明治学院大学	明治薬科大学	明星大学
目白大学	立教大学	立正大学	ルーテル学院大学
LEC東京リーガルマインド大学	和光大学	早稲田大学	麻布大学
神奈川大学	神奈川工科大学	関東学院大学	相模女子大学
産業能率大学	松蔭大学	湘南工科大学	昭和音楽大学
■ 鶴見大学	桐蔭横浜大学	東洋英和女学院大学	フェリス女学院大学
横浜商科大学	■ 横浜薬科大学	敬和学園大学	長岡大学
長岡造形大学	新潟医療福祉大学	新潟経営大学	新潟工科大学
新潟国際情報大学	新潟産業大学	新潟青陵大学	新潟薬科大学
高岡法科大学	富山国際大学	金沢学院大学	金沢工業大学
■ 金星学院大学	■ 金城大学	仁愛大学	福井工業大学
■ 帝京科学大学	山梨英和大学	山梨学院大学	諏訪東京理科大学
清泉女子学院大学	長野大学	■ 松本大学	松本歯科大学
朝日大学	岐阜医療科学大学	岐阜経済大学	岐阜女子大学
岐阜聖徳学園大学	中京学院大学	中部学院大学	東海学院大学
静岡英和学院大学	静岡産業大学	静岡福祉大学	静岡文化芸術大学
静岡理工科大学	聖隷クリストファー大学	常葉学園大学	浜松大学
浜松学院大学	富士常葉大学	愛知大学	愛知学院大学

愛知学泉大学	愛知工科大学	愛知工業大学	愛知産業大学
愛知淑徳大学	■ 愛知東邦大学	愛知みずほ大学	桜花学園大学
金城学院大学	■ 椙山女学園大学	星城大学	大同工業大学
中京大学	中京女子大学	中部大学	東海学園大学
同朋大学	豊田工業大学	豊橋創造大学	名古屋外国語大学
名古屋学院大学	名古屋芸術大学	名古屋経済大学	■ 名古屋芸術大学
名古屋産業大学	名古屋商科大学	名古屋女子大学	名古屋文理大学
南山大学	日本福祉大学	人間環境大学	藤田保健衛生大学
名城大学	皇學館大学	鈴鹿医療科学大学	鈴鹿国際大学
三重中京大学	四日市大学	■ 四日市看護医療大学	聖泉大学
長浜バイオ大学	大谷大学	京都外国語大学	京都学園大学
京都光華女子大学	京都嵯峨芸術大学	京都産業大学	京都女子大学
京都精華大学	京都造形芸術大学	京都創成大学	京都橘大学
京都ノートルダム女子大学	京都文教大学	京都薬科大学	種智院大学
同志社大学	同志社女子大学	花園大学	佛教大学
平安女学院大学	明治鍼灸大学	■ 立命館大学	龍谷大学
■ 藍野大学	大阪青山大学	大阪医科大学	大阪大谷大学
大阪観光大学	大阪学院大学	大阪経済大学	大阪芸術大学
大阪工業大学	大阪国際大学	大阪産業大学	大阪樟蔭女子大学
大阪商業大学	大阪女学院大学	大阪成蹊大学	大阪総合保育大学
大阪電気通信大学	大阪人間科学大学	大阪薬科大学	追手門学院大学
関西大学	関西医療大学	関西外国語大学	関西福祉科学大学
近畿大学	四天王寺国際仏教大学	摂南大学	千里金蘭大学
相愛大学	■ 太成学院大学	帝塚山学院大学	常磐会学園大学
梅花女子大学	羽衣国際大学	阪南大学	ブール学院大学
桃山学院大学	芦屋大学	英知大学	大手前大学
関西国際大学	関西学院大学	近畿福祉大学	甲子園大学
甲南大学	■ 甲南女子大学	神戸海星女子学院大学	神戸学院大学
神戸芸術工科大学	神戸国際大学	■ 神戸夙川学院大学	神戸松蔭女子学院大学
神戸女学院大学	神戸女子大学	神戸親和女子大学	神戸ファッション造形大学
神戸薬科大学	神戸山手大学	聖和大学	園田学園女子大学
■ 姫路獨協大学	兵庫大学	武庫川女子大学	流通科学大学
畿央大学	帝塚山大学	天理大学	奈良大学
奈良産業大学	鳥取環境大学	■ 岡山学院大学	岡山商科大学
岡山理科大学	川崎医療福祉大学	■ 環太平洋大学	吉備国際大学
倉敷芸術科学大学	くらしき作陽大学	山陽学園大学	就実大学
中国学園大学	ノートルダム清心女子大学	美作大学	呉大学
比治山大学	広島経済大学	広島工業大学	広島国際学院大学
広島修道大学	広島女学院大学	広島文教女子大学	福山大学
■ 福山平成大学	■ 安田女子大学	■ 宇部フロンティア大学	東亜大学
徳山大学	梅光学院大学	山口福祉文化大学	■ 山口学芸大学
山口東京理科大学	四国大学	徳島文理大学	■ 四国学院大学
高松大学	聖カタリナ大学	松山大学	松山東雲女子大学
高知工科大学	九州栄養福祉大学	九州共立大学	九州国際大学
九州産業大学	九州情報大学	九州女子大学	久留米大学
久留米工業大学	産業医科大学	西南学院大学	西南女学院大学
聖マリア学院大学	■ 第一福祉大学	■ 第一薬科大学	中村学園大学
筑紫学園大学	西日本工業大学	福岡大学	■ 福岡経済大学
福岡工業大学	福岡国際大学	福岡歯科大学	福岡女学院大学
活水女子大学	長崎ウエスレヤン大学	長崎外国語大学	長崎国際大学
長崎純心大学	長崎総合科学大学	九州看護福祉大学	九州東海大学
九州ルーテル学院大学	熊本学園大学	熊本保健科学大学	尚絅大学
崇城大学	日本文理大学	別府大学	立命館アジア太平洋大学
九州保健福祉大学	南九州大学	宮崎国際大学	宮崎産業経営大学
鹿児島国際大学	鹿児島純心女子大学	志學館大学	■ 第一工業大学
沖縄大学	沖縄国際大学	名城大学	

平成20年度大学入試センター試験利用短期大学

156短期大学

■ 公立短期大学17短期大学44学科 ■ は平成20年度新規利用短期大学 ■ は平成20年度新規利用学科がある短期大学

岩手県立大学宮古短期大学部	岩手県立大学盛岡短期大学部	山形県立米沢女子短期大学	会津大学短期大学部
■ 千葉県立衛生短期大学	■ 川崎市立看護短期大学	富山県立大学短期大学部	長野県短期大学
■ 岐阜市立女子短期大学	静岡県立大学短期大学部	三重短期大学	京都市立看護短期大学
■ 新見公立短期大学	福山市立女子短期大学	島根県立大学短期大学部	大分県立芸術文化短期大学
■ 鹿児島県立短期大学			

■ 私立短期大学139短期大学334学科 ■ は平成20年度新規利用短期大学 ■ は平成20年度新規利用学科がある短期大学

札幌国際大学短期大学部	札幌大学短期大学部	酪農学園大学短期大学部	青森短期大学
青森中央短期大学	尚絅学院大学女子短期大学部	日本赤十字秋田短期大学	山形短期大学
いわき短期大学	郡山女子大学短期大学部	宇都宮短期大学	関東短期大学
高崎健康福祉大学短期大学部	高崎商科大学短期大学部	東京福祉大学短期大学部	新島学園短期大学
聖徳大学短期大学部	青山学院女子短期大学	大妻女子大学短期大学部	嘉悦大学短期大学部
共立女子短期大学	■ 駒沢女子短期大学	実践女子短期大学	昭和女子大学短期大学部
女子栄養大学短期大学部	女子美術大学短期大学部	白梅学園短期大学	東京家政学院短期大学
東京家政大学短期大学部	東京成徳短期大学	東京農業大学短期大学部	東京富士大学短期大学部
日本大学短期大学部	文京学院短期大学	■ 宝仙学園短期大学	立教女学院短期大学
相模女子大学短期大学部	昭和音楽大学短期大学部	金沢学院短期大学	金城大学短期大学部
小松短期大学	星稜女子短期大学	北陸学院短期大学	仁愛女子短期大学
■ 福井医療短期大学	山梨学院短期大学	信州短期大学	■ 清泉女学院短期大学
松本大学松商短期大学部	静岡英和学院大学短期大学部	静岡福祉大学短期大学部	常葉学園短期大学
愛知学院大学短期大学部	愛知学泉短期大学	愛知工科大学自動車短期大学	愛知江南短期大学
愛知大学短期大学部	愛知みずほ大学短期大学部	一宮女子短期大学	岡崎女子短期大学
光陵女子短期大学	中京女子大学短期大学部	■ 豊橋創造大学短期大学部	名古屋芸芸大学短期大学部
名古屋経済大学短期大学部	名古屋女子大学短期大学部	名古屋短期大学	名古屋文理大学短期大学部
藤田保健衛生大学短期大学	三重中京大学短期大学部	■ 滋賀女子短期大学	池坊短期大学
大谷大学短期大学部	華頂短期大学	京都光華女子大学短期大学部	京都女子大学短期大学部
京都文教短期大学	聖母女学院短期大学	龍谷大学短期大学部	大阪学院短期大学
大阪薫英女子短期大学	大阪芸術大学短期大学部	■ 大阪国際大学短期大学部	大阪産業大学短期大学部
大阪女学院短期大学	大阪成蹊短期大学	関西外国語大学短期大学部	関西女子短期大学
近畿大学短期大学部	四天王寺国際仏教大学短期大学部	千里金蘭大学短期大学部	梅花女子大学短期大学部
■ プール学院大学短期大学部	平安女学院大学短期大学部	大手前短期大学	神戸女子短期大学
■ 神戸常盤短期大学	産業技術短期大学	聖和大学短期大学部	園田学園女子大学短期大学部
姫路日ノ本短期大学	兵庫大学短期大学部	武庫川女子大学短期大学部	白鳳女子短期大学
岡山短期大学	川崎医療短期大学	作陽短期大学	山陽学園短期大学
就実短期大学	順正短期大学	■ 中国短期大学	美作大学短期大学部
鈴峯女子短期大学	比治山大学短期大学部	広島文化短期大学	安田女子短期大学
四国大学短期大学部	徳島文理大学短期大学部	高松短期大学	今治明德短期大学
聖力タリナ大学短期大学部	松山東雲短期大学	九州女子短期大学	久留米信愛女学院短期大学
■ 第一保育短期大学	西南女学院大学短期大学部	筑紫学園大学短期大学部	東筑紫短期大学
福岡工業大学短期大学部	福岡女学院大学短期大学部	福岡女子短期大学	佐賀女子短期大学
長崎外国語短期大学	尚絅大学短期大学部	別府大学短期大学部	南九州短期大学
宮崎女子短期大学	鹿児島国際大学短期大学部	鹿児島女子短期大学	

(注) 1 大学入試センター試験を利用する大学・短期大学によっては、学部・学科・専攻等により利用しない場合もあるので、各大学・短期大学の募集要項などで確認してください。
2 私立大学の利用学部については、大学入試センターのホームページ (<http://www.dnc.ac.jp/>) を御覧ください。

大学入試センター試験利用大学数の推移

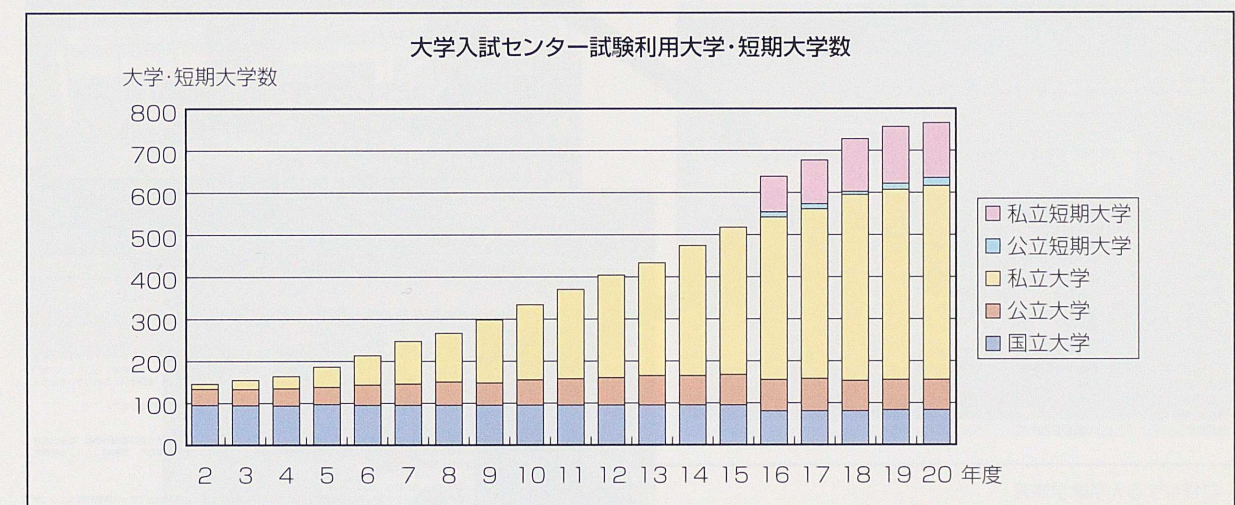
年度	国立大学	公立大学	私立大学（利用定員）	計
16	83大学	73大学	387大学 1,003学部（39,948名）	543大学
17	83大学	72大学	408大学 1,092学部（46,123名）	563大学
18	82大学	72大学	440大学 1,179学部（47,978名）	594大学
19	83大学	74大学	450大学 1,243学部（49,802名）	607大学
20	83大学	74大学	467大学 1,286学部（50,772名）	624大学

(注) 1 平成20年度の利用大学数は、平成19年3月31日現在の予定数です。
2 利用定員は平成19年度の利用定員に平成20年度の新規利用大学等分を増減したものであり、今後増減する可能性があります。

大学入試センター試験利用短期大学数の推移

年度	国立短期大学	公立短期大学（利用定員）	私立短期大学（利用定員）	計
16	—	9短期大学 25学科（653名）	88短期大学 205学科（1,619名）	97短期大学
17	—	12短期大学 29学科（759名）	100短期大学 231学科（1,921名）	112短期大学
18	—	13短期大学 32学科（887名）	120短期大学 288学科（2,391名）	133短期大学
19	—	14短期大学 35学科（1,024名）	134短期大学 323学科（2,569名）	148短期大学
20	—	17短期大学 44学科（1,229名）	139短期大学 334学科（2,644名）	156短期大学

(注) 1 平成20年度の利用短期大学数は、平成19年3月31日現在の予定数です。
2 利用定員は平成19年度の利用定員に平成20年度の新規利用短期大学等分を増減したものであり、今後増減する可能性があります。



お答えします 大学入試センター試験 Q&A

Q 大学入試センター試験の出願に当たって、特に注意すべき点はどんなことですか？

A 大学入試センター試験は、出題教科・科目数が6教科28科目と多く、利用する大学での教科・科目の指定も複雑・多岐にわたっています。したがって、自分が志望する大学・学部等が、大学入試センター試験を利用するか否か、また利用する場合にはどのように利用するのか、募集要項等で十分確認し、併願校との関係も考えながら、受験教科・科目を決める必要があります(2教科以下で出願した場合は3教科以上受験できません)。

なお、出願期間が試験実施日よりかなり早い(今年度は平成19年10月1日(月)～12日(金))ので、忘れずに期間内に願出済を済ませてください。また、障害のある入学志願者は、受験に当たって特別の措置が受けられますので、出願の際に、「受験案内(別冊)」により、十分確認して所要の手続をとる必要があります。

Q 大学入試センター試験を利用している大学はどこで調べられますか？

A 大学入試センターのホームページに、センター試験を利用する大学・短期大学の一覧を掲載しています。また、ハートシステムによる進学情報検索サービスも行っていますので併せて利用してください。

Q 大学入試センター試験を利用している大学に、何校まで出願できますか？

A ●国公立大学を受験する場合

出願は、前期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、後期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、公立大学の中期日程の試験を実施する大学・学部から1つの、合計3つの大学・学部に出願・受験することが可能です。

●大学入試センター試験を利用する私立大学及び公私立短期大学を受験する場合

大学の数に制限はありませんが、出願期日、試験日とも各大学・学部が設定していますので、各大学の募集要項等で確かめて出願・受験してください。

Q 大学入試センター試験の受験状況はどのようになっていますか？

A 大学入試センターのホームページに、過去の志願者・受験者等の推移や、平均点の推移を掲載していますので参考にしてください。また、志願者数など随時ホームページに掲載する予定です。

Q 大学入試センター試験の試験場はどこになりますか？

A 各志願者の試験場は、原則として都道府県を単位とした試験地区に基づき設定した試験場の中から、大学入試センターが指定します。原則として、高等学校又は中等教育学校卒業見込者は、在学する学校が所在する試験地区内の試験場、高等学校又は中等教育学校卒業等者は、志願票に記入された現住所の試験地区内の試験場となります。

試験場の指定は志願者数等によって行いますので、例えば〇〇高校は毎年××試験場というように固定されているものではありません。この指定は受験票によって行います。事前に必ず下見をするようにしてください。

Q 大学入試センター試験出願時には、受験する科目を届け出るのでしょうか？

A 志願票には「受験希望教科・科目」を記入する欄があります。この欄には受験することを考えている(考えられる)全教科・科目に○をつけてください。この欄は、各試験場で用意する問題冊子の数量を決定する基礎資料にもなりますので、必ず記入してください。なお、○をつけたからといってそれらの教科・科目を必ず受験しなければならないというものではありません。当日、変更・追加・取りやめをすることもできます。ただし、2教科以下の受験として出願した者は、3教科以上を受験することはできませんので、注意してください。

Q 大学入試センター試験の得点調整は、どのような場合に行われるのでしょうか？

A 大学入試センターとしては、問題作成の段階で著しい平均点差が生じないようできる限りの努力をしていますが、それでも大学入試センター試験の本試験において次の各科目間で、原則として、20点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。

- 1 地理歴史の「世界史B」、「日本史B」、「地理B」の間
- 2 公民の「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」の間
- 3 理科の「物理I」、「化学I」、「生物I」、「地学I」の間

Q 各受験者の成績はどのように扱われるのですか？

A 答案は、大学入試センターで一括して採点します。その成績は、受験者が出願した大学からの請求に基づき、その大学に対して提供します。大学入試センター試験の前年度成績を当該年度の入学選抜に利用する大学に対してはこれも同様に提供します。なお、正解と配点については、試験終了後に報道機関及び大学入試センターのホームページを通じて発表します。

Q 大学入試センター試験の成績を知ることができますか？

A 大学入試センター試験出願時に成績開示を希望した受験者には、4月16日以降に書留郵便で通知することになっています。希望者は出願時に併せて申し込んでください。

Q 大学入試センターのホームページでは、どのような情報を提供しているのですか？

A 大学入試センターのホームページでは、適宜、出題教科・科目、入学選抜実施日程、受験案内、志願者数、試験問題の正解、平均点等を提供しています。また、過去の大学入試センター試験のデータ、英語リスニングテストで使用するICプレーヤーの操作ガイドやセンター試験で多く寄せられる質問についてのQ&Aも掲載しています。

さらに、平成21年度以降の大学入試センター試験の情報も随時ホームページにて提供する予定です。

Q 大学入試センター試験の受験案内はどこで入手できますか？

- 平成20年度受験案内の配付
- ・配付時期 平成19年9月3日(月)から
 - ・配付場所等
 - ①全国学校案内資料管理事務センター
(<http://www.telemail.ne.jp/gakkou/0102.htm>)
 - 〈テレメールカスタマーセンター〉
050-2015-5050(9:30～18:00)
 - ②大学入試センター試験利用大学
- 障害のある入学志願者が受験特別措置を希望する場合に必要な「平成20年度受験案内(別冊)」は、大学入試センターに直接請求するか、ホームページからダウンロードしてください。
- ・配付時期 平成19年9月3日(月)から

■大学入試センター試験志願者問い合わせ先
独立行政法人 大学入試センター事業第一課
ホームページの「**センター試験Q&A**」をご利用ください。
大学入試センターホームページ <http://www.dnc.ac.jp/>
志願者問い合わせ専用電話 03-3465-8600
9:30～12:00 13:00～17:00(土・日曜、祝日、年末年始は除く)
※電話によるお問い合わせは、志願者本人が行ってください。

大学進学案内ハートシステム
<http://www.heart.dnc.ac.jp/>

大学入試センターは、文部科学省所管の独立行政法人です。教材の訪問販売等は、一切行っておりません。



独立行政法人大学入試センター

〒153-8501 東京都目黒区駒場2丁目19番23号

電話 03-3468-3311(代表)

ホームページアドレス <http://www.dnc.ac.jp/>

大学進学案内
 **HEART SYSTEM** <http://www.heart.dnc.ac.jp/>

